

1. **平成20年3月期中間決算**
中間連結決算
経営成績の概要
キャッシュフロー / 長期債務

2. (1) **平成20年3月期業績予想**

(2) **今後の施策について**
対航空施策
N700系投入計画とご利用の状況
エクスプレス予約の状況
東海道新幹線の列車本数とご利用状況
設備投資と長期債務縮減

1. 平成20年3月期中間決算

19年度中間連結決算

平成17年度以来、2期ぶりの増収増益

(億円)

	連結			単体		
	18年度 A	19年度 B	増減 B - A	18年度 C	19年度 D	増減 D - C
営業収益	7,334	7,656	322	6,032	6,283	251
営業費用	5,177	5,092	85	3,964	3,787	177
営業利益	2,156	2,564	407	2,067	2,495	428
営業外損益	747	697	50	742	687	54
経常利益	1,408	1,866	457	1,325	1,808	482
中間純利益	833	1,080	247	792	1,085	293

経営成績の概要

収 益

鉄道事業

新幹線 7月のダイヤ改正などにより、収入が222億円
(4.3%)増加

在来線 優等列車・普通列車のご利用が全般的に
好調で、収入が12億円(2.4%)増加

鉄道以外の事業

流通業 引き続き好調。売上が43億円(4.8%)増加

外部売上ベース

費 用

税制改正等の影響で減価償却費は25億円増加したが、
物件費が減少したことなどから営業費全体では85億円減少
長期債務の金利低下などにより、支払利息が58億円減少

キャッシュ・フロー / 長期債務

キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・イン

東海道新幹線の運輸収入の増などにより539億円増加

投資活動によるキャッシュ・アウト

固定資産の取得に係る支出増などにより213億円増加

フリー・キャッシュ・フロー 前期と比べ326億円増加

財務活動によるキャッシュ・アウト

自己株式の取得を行った前期と比べると1,577億円減少

長期債務

連結 3兆5,006億円 (前期末比 + 20億円)

単体 3兆4,212億円 (同 + 55億円)

2. (1)平成 20年 3月期業績予想

平成20年3月期 業績予想

- ・営業収益 運輸収入の上期実績などを反映
- ・営業費用 精査により減少 (物件費、減価償却費)
- ・営業外費用 :長期債務 (702億円)の早期返済を反映

(億円)

	単体			連結		
	当初予想 A	今回予想 B	増減 B - A	当初予想 C	今回予想 D	増減 D - C
営業収益	12,160	12,410	250	14,940	15,260	320
営業費用	8,590	8,500	90	11,180	11,170	10
営業利益	3,570	3,910	340	3,760	4,090	330
営業外損益	1,460	1,580	120	1,480	1,600	120
経常利益	2,110	2,330	220	2,280	2,490	210
当期純利益	1,270	1,400	130	1,330	1,460	130
長期債務返済額	1,000	1,200	200	1,070	1,270	200

2.(2)今後の施策について

今後の対航空施策

羽田空港拡張を見据え、東海道新幹線の輸送サービスを質量共に強化

		平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度 ~
航空					☆ 羽田拡張		
新幹線	輸送サービスの向上 N700 EX 予約				N700系を「のぞみ」に順次投入		☆
	輸送力の増強	☆ ICカード導入		☆ 全山陽直通のぞみ		☆ 全定期のぞみ	☆ H25 新大阪駅改良工事完了 のぞみ 最大10本/時 運転が可能に

N700の投入計画とご利用状況



N700系投入計画

今後 5年間で80編成投入、JR西日本と合わせて96編成を投入

・H21春、車内インターネット接続サービス開始予定

	H19	H20	H21	H22	H23
投入編成数	16 (8)	16 (1)	16 (5)	16 (2)	16 (0)
運転列車	現在 14本/日 全山陽直通のぞみ 全定期のぞみ				
サービス	車内インターネットサービス開始 (H21春～)				

投入編成数のカッコ内はJR西日本分

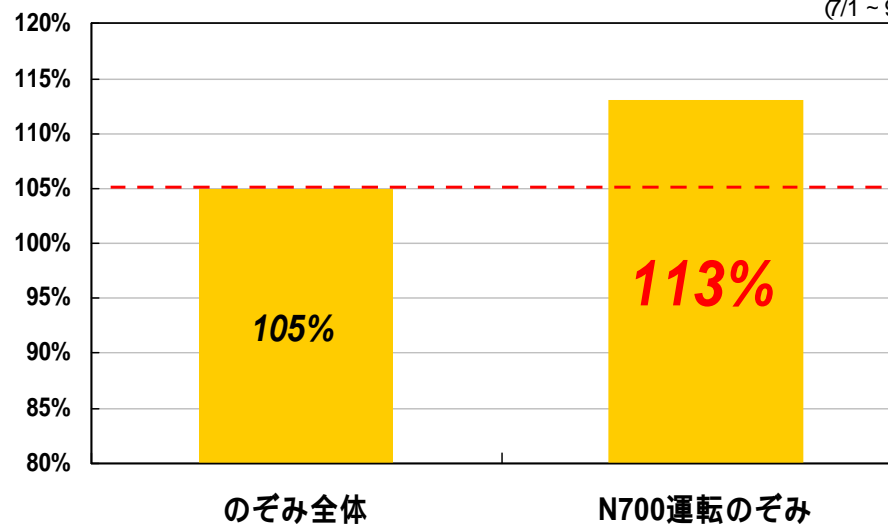
N700系ご利用状況

・7月のスタートから安定運行

・N700系「のぞみ」のご利用は「のぞみ」平均を大きく上回る

N700系列車断面輸送量の対前年同列車比較 (東京口)

(7/1～9/30の実績)



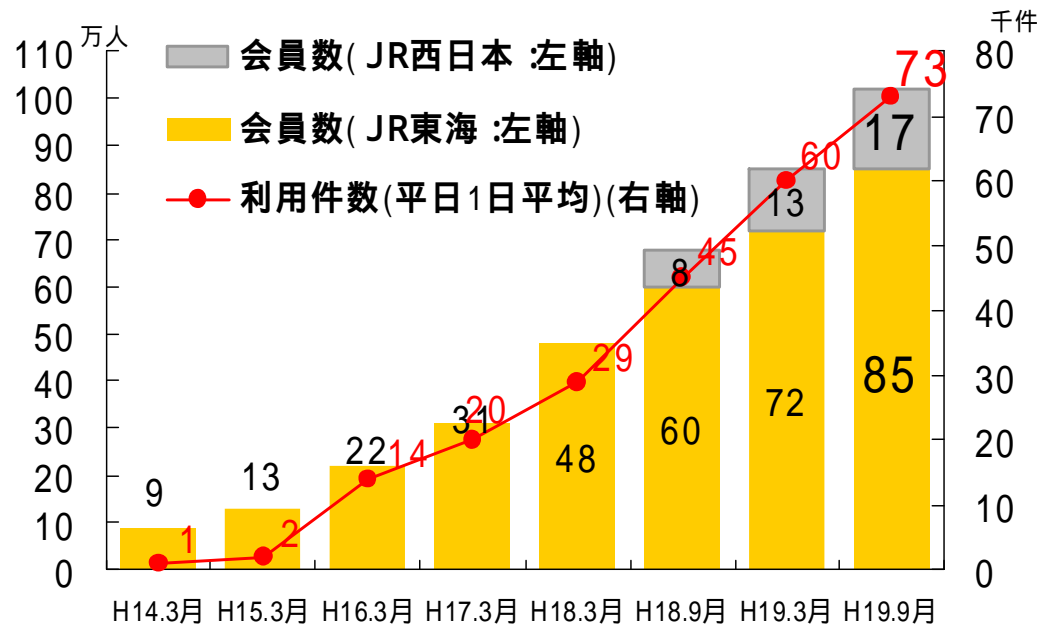
エクスプレス予約の状況

会員 100万人突破、ご利用件数も
順調に増加

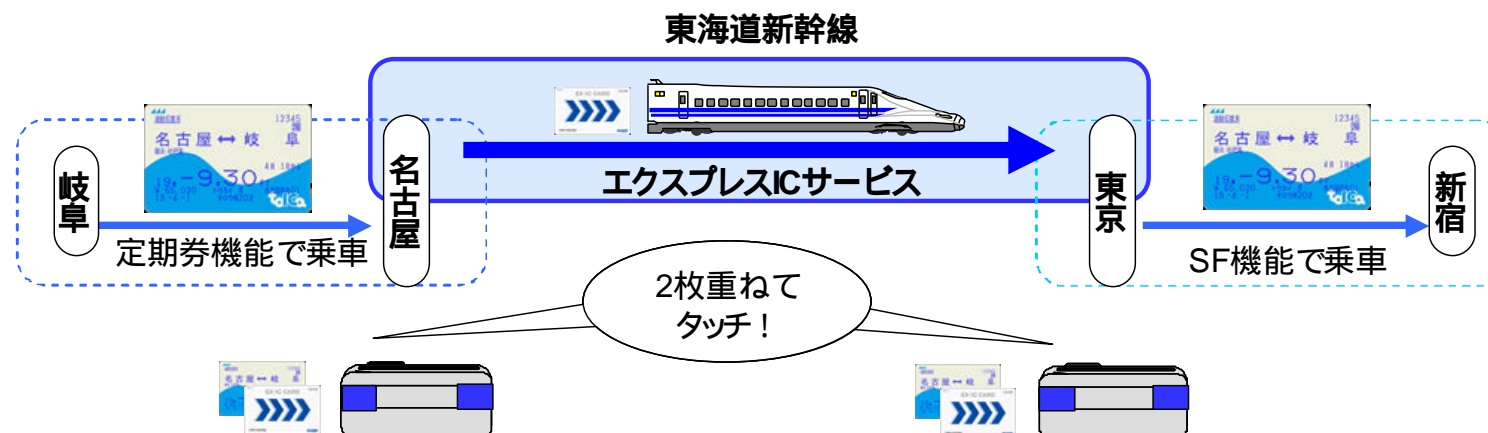
・**ICカード導入 (H20.3)**

チケットレス化など**IC**を活用した施
策を推進し、更なる会員拡大を進
め、対航空の競争力を強化

ICカード導入後



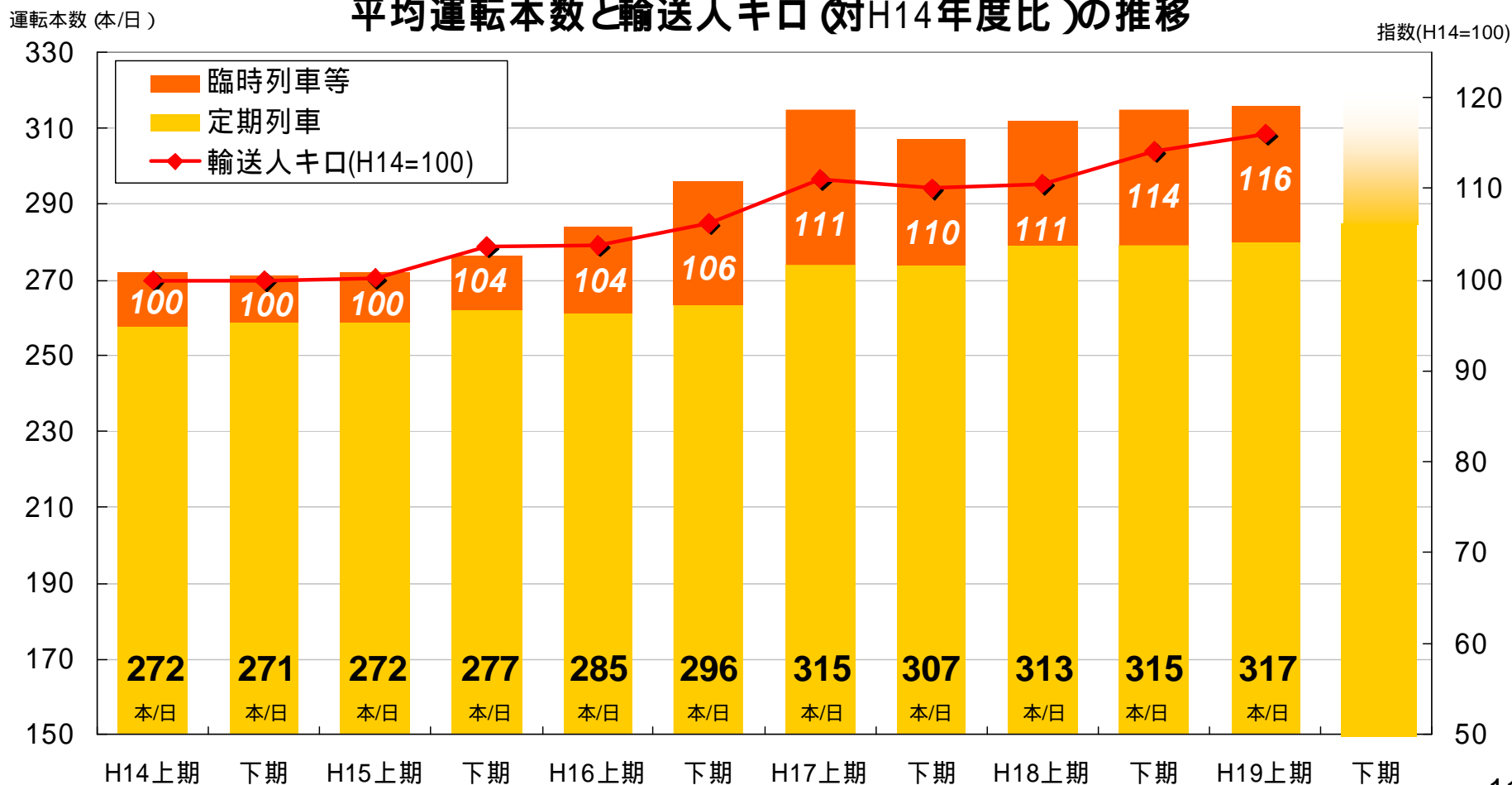
「エクスプレスICカード」と「TOICA」で新幹線と在来線の乗り継ぎをシームレス化



東海道新幹線の列車本数と利用状況

- ・H15下期以降、弾力的に臨時列車を設定、輸送力を強化
- 輸送量はそれに追隨する形で堅調な伸び

平均運転本数と輸送人キロ (対H14年度比) の推移



設備投資と長期債務縮減

設備投資と長期債務返済の推移と見通し

(億円)

